

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者		歴史まちづくり推進担当担当課長 不破 寛和	
歴史-01	重点事業	世界遺産条約登録事業	☒ 自治事務	主管課	歴史まちづくり推進担当
			☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史的遺産と共生するまちづくり	施策の方針	歴史的遺産と共生するまちづくり	

1 事業の目的

対象	鎌倉の歴史的遺産
意図	鎌倉の歴史的遺産を世界遺産一覧表へ掲載するため。
効果	鎌倉の歴史的遺産を確実に後世に伝えるとともに、古都としての風格を保った鎌倉らしいまちづくりに資する。

2 平成28年度に実施した事業の概要

・神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、比較研究、広報啓発等の再推薦・登録に向けた取組を実施した。
・自治・町内会等に対して、市の取組状況及び比較研究の成果について、出前講座を実施した。

3 事業費等基礎データ

データ 人口等の データ	データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考 ・各年3月31日 (住民基本台帳)
	人 口	177,243人	176,869人	人 口	176,466人	
	世 帯 数	80,676世帯	80,928世帯	世 帯 数	81,150世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	6,678	8,463	当初予算(千円)	9,149	
	国県支出金			国県支出金		
	地方債			地方債		
	その他			その他		
	一般財源	6,678	8,463	一般財源	9,149	
	人員配置数	3.5	3.5	人員配置数	1.7	
	人 件 費(千円)	26,789	27,044	人 件 費(千円)	13,212	
事業 経費 運営	総事業費(千円)	33,467	35,507	総事業費(千円)	22,361	
	市民1人当りの 経費(円)	189	201	市民1人当りの 経費(円)	127	
	対象者1人当りの 経費(円)			対象者1人当りの 経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	1. 廃止・休止による影響はない	
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
			△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直し ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	見直し 事業へ統合
	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	世界遺産登録の取組については、4県市で連携し、再推薦・登録をめざしているため。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、平成26～28年度の3年間実施してきた比較研究の成果を踏まえ、関係機関との協働により、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築を進めていく必要がある。 また、その取組状況については、様々な媒体を活用し、広く、市民等に発信していきたいと考えている。		

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	比較研究で得られた知見や成果を広く社寺、県民、市民、関係団体などに公開し、事業に対する理解を深め、幅広い支持を得るよう、さらに取組を進める必要がある。そのためには、連続講座を継続的に実施するとともに、対象を自治町内会や社寺、関係団体へと広げていく必要がある。	
課題解決のために行った平成28年度の実施	・比較研究で得られた知見や成果を広く市民、県民へ公開するため、連続講座(実地解説と講義)を、平成27年度に引き続き、28年度も2回実施した。(平成28年6月26日 浄光明寺「やぐらの広がり」、平成28年12月25日 鶴岡八幡宮及び横浜国大附属鎌倉中学校、「鎌倉の神社について」) ・比較研究の成果とこれからの課題について、社寺関係者、国内学識者等を交えた報告会、パネルディスカッションを実施した。(平成29年2月11日生涯学習センター) ・自治・町内会、市民団体等に対して、市の取組状況及び比較研究の結果について、出前講座を実施した。(6件) ・4県市のホームページにおいて、連続講座、報告会、27年度講演会などの結果概要、記録を公開した。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・世界遺産の取組について、幅広い支持を得られるよう、引き続き普及啓発に取り組む必要がある。 ・比較研究の成果を踏まえ、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築に向けた取組を進めていく必要がある。	

[illegible]

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	暫定リスト掲載の文化遺産の動向も見極めながら、取組を進めていく必要がある。
---------------------------------------	--

指標の内容	新たなコンセプトの確立に資する比較研究成果の獲得					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
再推薦・登録に向けた取組を進めるなかで、比較研究において成果を得ることが、新たなコンセプトを確立するための重要なステップとなるため。	目標値	30.0	60.0	100.0	100.0	100.0		100.0		
	実績値	30.0	60.0	100.0						
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%						

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方	平成26～28年度の3年間実施してきた比較研究については、計画どおり取り組むことができた。今後は、比較研究成果を踏まえ、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築を進めていく。 講演会等の実施回数等については、自治町内会等に広く呼びかけたことにより、連続講座や報告会の参加者とは異なる方々に対しても、世界遺産の取組について情報発信することができた。今後も、様々な機会を捉えて、広く、市民等に発信していきたい。
--	---